



## 〇鑑賞

本校の業務ではありませんが、お休みをいただいて光市中学校教育研究会の美術部会に招かれて先日参加してきました。そのことから思ったことなどを紹介してみます。

会場は光市立大和中学校です。実はこの中学校は私の初任校です。校舎に入っていくと、当時の3年生が造った卒業共同制作の木彫が出迎えてくれました。初任ですから私も経験不足の若造でした。失敗したことも大変多く、正直なところよい思い出はあまりありません。この日の研究授業は1年生の美術で作品鑑賞の時間でした。

生徒たちを見ているとき、「この子たちの保護者の多くは私が担当した生徒たちだろうな。」というのを思い、時間の経過をしみじみと感じてしまいました。正確に計算してみると、最初の教え子は50歳になろうとしていますから、もうすでに保護者ではないかもしれませんね。

さて思い出はこれくらいにして、美術作品の鑑賞活動の話題です。実は小学校の図工、中学校の美術の時間は他の教科に比べてそれほど多くありません。絵を描いたり粘土で制作したりするのにも多くの時間を費やしますので、作品鑑賞の時間設定は工夫を必要とします。このたよりを読んでいらっしゃる方は中学生時代にふれあった美術作品をどれくらい思い浮かべることができるでしょうか？

文学鑑賞といえる「読書」をする人は多いことと思います。中には自分にとって“大切な一冊”というものがある人もいらっしゃるでしょう。自分にとって“大切な一作”といえる美術作品がある人はどれくらいいらっしゃるでしょうか？ない人も多いことでしょう。残念です。文学も美術も芸術作品ですから、感動をもらい自分の生き方に影響を与えてくれるものです。「私は美術は素人なので、」と一歩引いてしまう人はもったいない！

つづく

このたよりでは、本校の内容とはかかわりのない出来事などについても記述することがあります。しかし、その中からでも学生の皆さんが参考になることを一つでも見つけてくれたらうれしいと思って書いています。今回の内容には何か参考になることがあったでしょうか？（今回号は短かったですね。）

## 自校自賛

11日(土)のOCでの学生スタッフは2年生の相川さんと松根君でした。内容はネイチャーレクリエーション体験でした。普段何気なく見ている自然でも、視点の違いから新鮮な発見をすることはたくさんあったようです。



本校のシンボルツリーである玄関前のケヤキです。こうやって夏と秋を並べてみると季節の変化を実感できますね。これからも何人の卒業生を見送ってくれることでしょうか。